

# 人生を変える出会い～「鍛地頭-*tanjito*」と私

令和7年度採用山形県公立学校教員選考試験(令和6年度実施)合格

N先生・高等学校教諭(外国語)

この度は合格体験記を書かせていただき、大変光栄に思っております。私の体験が、これから教員採用試験を受験される方や教員採用試験対策で悩んでいる方の目に留まり、少しでも参考になれば幸いです。

## <「鍛地頭-*tanjito*」との出会い>

私はもう何年にもわたり常勤講師として勤務しながら教員採用試験(以下、「教採」と表記)を受験してきて、夏に教採を受験するのはもはや年中行事と化しているような感覚さえありました。しかし、ある時ふと、「私はいつまでこんなことしているのだろう。いい加減に合格しなければ。」と思い、教採の対策を行っている塾や予備校の情報収集を始めました。そして、偶然 SNS で知り合った方の合格体験談を目にし、その方が「鍛地頭-*tanjito*」をおすすめしていたこともあり、「鍛地頭-*tanjito*」のホームページを覗いたことがきっかけで学縁をもち、教採に合格し、正式採用になった現在でもその学縁は続いています。

## <受講した講座と学びの振り返り>

私の課題は大きく2つあり、「面接に苦手意識を持っていること」と「知識不足」でした。面接に関しては、教採の二次試験で不合格になった時から苦手意識を持つようになり、それを払拭するのが一番大変でした。

私が「鍛地頭-*tanjito*」で受講した講座はさまざまあるのですが、ここではそのうちの3つを紹介させていただきます。

1.「場面指導 Weekly 解説ルーム」:この講座はリモート指導で行われ、毎回塾長がテーマに沿って用意した設問の答えを講座の中で考えていきます。この講座では他の塾生の方との交流もあり、一緒に「なぜその答えになるのか」、「(法的な)根拠は何か」、「どういった背景があるのか」といった、問題集を解くだけでは決して得ることができない知識等を仲間とともに学ぶことができ、他(多)視点の形成にもつながることができました。私は教育法規を覚えるのがとても苦手でしたが、この講座を通して、法規をベースに解答を作成することの大切さも実感しました。

2.「面接試験対策講座」:この講座は一對一で行われます。Microsoft OneNote に出題されたさまざまな設問に答えていき、塾長の添削指導を受け、リモート指導の中で実際の面接試験を意識した面接練習を行いました。基本的に OneNote に解答を入力しても一発 OK ということではなく(少なくとも私は一度も一発 OK はありません)、追質問、追々質問…と塾長からの愛の鞭(?)がきます。最初のうちは解答を書いても書いても次々質問が追加されて大変かもしれませんが、粘り強く塾長の指導についていくと間違いなく力がつきます。

また、リモート指導の中では、面接官はどういうところを意識しているのかというポイントや、話ぐせも指摘していただき、実践に近い形で練習を重ねることができました。二次試験の直前の講座の中で練習した質問のいくつかは本番の面接試験でも聞かれ、自信を持って答えることができました。

[次頁に続く]

3.「自己 PR 文作成錬成講座」：塾長はよく「教採で提出する書類に意味のないものはない。」とおっしゃいます。おそらく他の自治体と同様、山形県は出願の際にエントリーシートの提出が求められます。昨年度教採に出願するにあたり、二次の面接試験でエントリーシートから質問されることを想定して、時間をかけてエントリーシートを作成しました。塾長からアドバイスをいただきながら、これまで常勤講師として勤務してきた中での成果と課題をメタ認知しながらエントリーシートを完成させました。それから想定質問やその答えを用意し、「面接試験対策講座」同様、本番さながらの面接練習をリモートでしていただきました。ここで練習した質問も本番でも聞かれ、練習の成果を発揮することができたと思います。

#### <塾長について>

塾長である小桝先生は、一人一人の児童生徒に力をつけてもらいたい、そのために「ホンモノの教員」を育成しなければいけない、と志を持って塾生の指導をされています。豊富な知識と長年の教育現場で培った実践力、そして誰にも負けない教育愛をお持ちの方です。そして大変面白い一面もあります。また、小桝先生はいつでも真剣に塾生に向き合ってくださいます。メンターの役割も担ってくださいます。小桝先生は本当のことしかおっしゃらないので、時にはそれが厳しく感じることもあるかもしれませんが、それは誰よりも塾生のことを考えているからこそなのです。小桝先生の人柄を知ると、きっとこの方と一緒に学んでいきたいと思うはずです。

私は「鍛地頭-*tanjito*」との出会いで、生き方や人生が変わったと言っても過言ではありません。同じ志をもつ仲間とともに学ぶ喜び、「鍛地頭-*tanjito*」での学びを現場で活かせる喜びを噛みしめて、今後も「鍛地頭-*tanjito*」で学び続けていきたいと思っています。

もし、あなたがこの「合格体験記」を読まれて「鍛地頭-*tanjito*」に興味が出たのであれば、躊躇せずにぜひお問い合わせしてみてください。「鍛地頭-*tanjito*」はいつでも温かく迎え入れてくれますよ。